

小中高校生の子どもの持つ保護者2,400人に聞いた
「学校教育でのデジタル端末の利用状況と評価」
デジタル端末を使った授業について、8割以上の保護者が良い印象
子どもの将来や学びの広がりへの効果を評価

～調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.228「学校教育でのデジタル端末利用の状況」～
<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol228>

菅公学生服株式会社（本社：岡山市北区駅元町、代表取締役社長：尾崎 茂 以下：カンコー学生服）は毎月最終火曜日に結果を発信している調査レポート「カンコーホームルーム」Vol.228にて、「学校教育でのデジタル端末利用の状況」の調査データを公開しました。

近年、学校教育のICT・デジタル化が進んでいます。その背景に、子どもたちが1人1台のデジタル端末（タブレット・ノートパソコンなど）を利用した授業があります。では、小学・中学・高校生の子どもの持つ保護者は、学校教育でのデジタル端末利用についてどのように思っているのでしょうか？

今回は、小学・中学・高校生の子どもの持つ保護者2,400人を対象に、学校の授業におけるデジタル端末の利用状況と、デジタル端末を使った授業の評価とその理由について調査しました。



◆調査結果サマリー◆

- 全体で約8割がデジタル端末を授業で利用していると保護者が回答
- デジタル端末を使った授業について、8割以上の保護者が良いと評価
- 時代性や将来に必要なスキルであることが良い評価の理由としてあげられる一方、視力低下や使用方法、持ち運び面で懸念する声も

◆まとめ・見解

GIGAスクール構想は、文部科学省が2019年12月に打ち出した方針で、全国の児童・生徒1人に1台のパソコンやタブレットなどの端末と高速ネットワークを整備する取り組みです。現在、多くの学校で授業に実施されて、さまざまなメリットがある一方で課題もみられるようです。

今回、小学・中学・高校生の子どもを持つ保護者2,400人を対象にした学校の授業でのデジタル端末利用状況は、「利用している」(全体82.0%、小学生84.5%、中学生81.6%、高校生79.9%)という結果でした。

デジタル端末を使った授業については、「とても良い」と「まあ良い」をあわせると8割以上の保護者が良いと評価していることから、学校教育環境に良い変化が生まれているようです。デジタル端末を使った授業についての良い点としては、「今の時代に必要だと思う」「将来につながると思う」「授業がわかりやすいと感じるから」「効率よく勉強できる」「学校を休んだ時も授業を受けられるから」など、将来のために必要なスキルの取得と授業の質向上や利便性などが良いと思う理由としてあげられました。

一方、デジタル端末を使った授業の悪い点は、「目が悪くなる」「学習内容が定着するか不安」「SNSやYouTubeも見られるから」「マンガを読んだり、遊んでしまうから」「故障などのトラブルもあるから」「毎日の持ち帰りでランドセルが重い」などの利用効果がわからないことや使用方法、持ち運びの課題などがみられました。

GIGAスクール構想によって、デジタル端末やインターネットを活用した新しい教育スタイルが全国の学校に広がっています。「GIGA」は「Global and Innovation Gateway for All」の略称で、全ての子どものための、世界につながる革新的な扉になることを目指しています。その実現のために、さらなる活用と環境整備が期待されています。

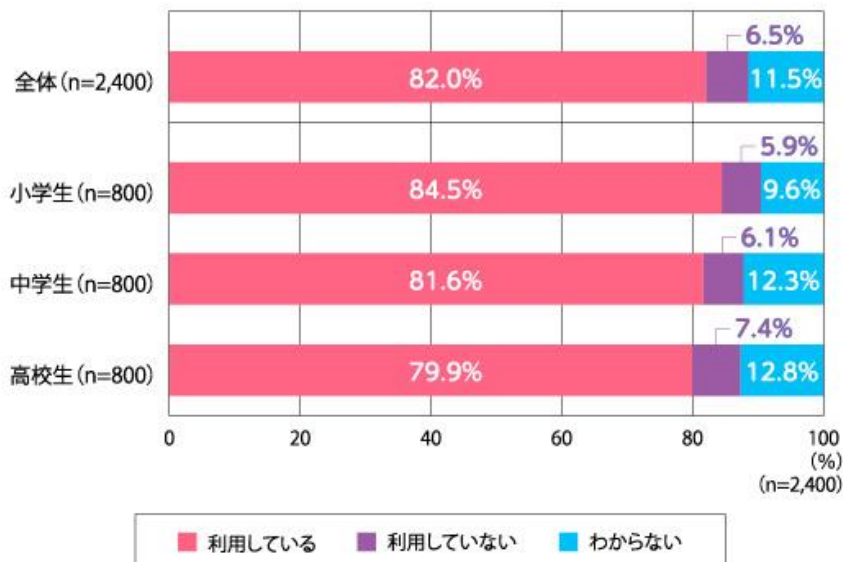
◆調査結果

1.授業でのデジタル端末の利用状況

●全体で約8割が利用していると保護者が回答

小学・中学・高校生の子どもを持つ保護者に聞いた学校の授業でのデジタル端末の利用状況は、「利用している」(全体82.0%、小学生84.5%、中学生81.6%、高校生79.9%)という結果で、小学生の利用が全体に比べてやや多く、全体では約8割がデジタル端末を授業で利用していると回答していました。

Q.お子様は学校の授業で、デジタル端末を利用していますか。(単数回答)



※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

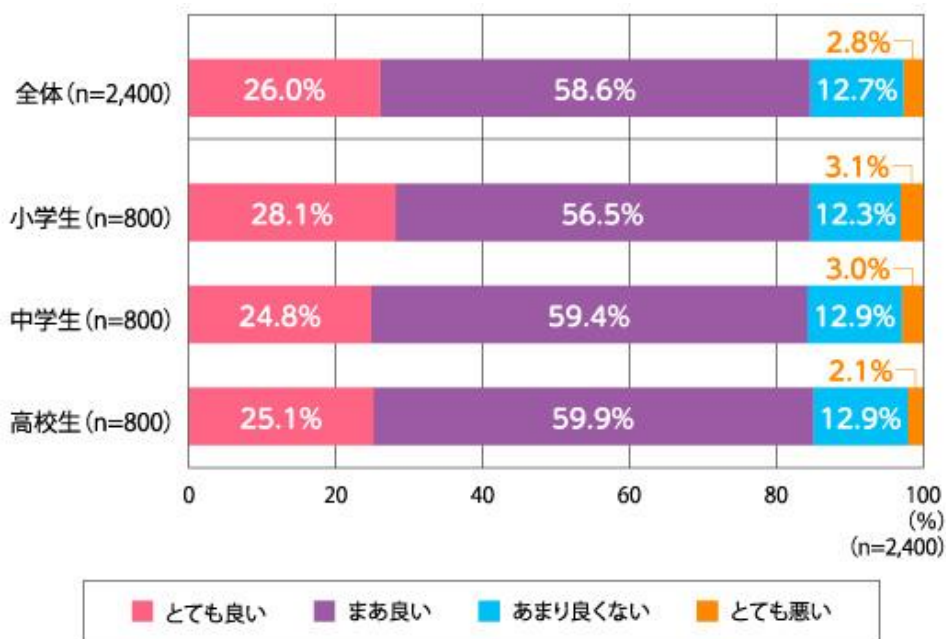
◆調査結果

2. デジタル端末を使った授業の評価

●8割以上の保護者が良いと評価

デジタル端末を使った授業については、「とても良い」(全体26.0%、小学生28.1%、中学生24.8%、高校生25.1%)、「まあ良い」(全体58.6%、小学生56.5%、中学生59.4%、高校生59.9%)をあわせると8割以上の保護者がデジタル端末の利用に良い印象を持っていました。

Q. デジタル端末を使った授業について、どのように思いますか。(単数回答)



3. デジタル端末を使った授業の評価の理由

●時代性や将来に必要なスキルであることが良い評価の理由としてあげられる一方、視力低下や使用方法、持ち運び面で懸念する声も

学校教育でデジタル端末を使った授業実施について、保護者が良いと回答した理由は「今の時代に必要だと思う」「将来につながると思う」「大人になったら使うので慣れて欲しい」といった時代性や将来のために必要なスキルであることや、「授業がわかりやすいと感じるから」「効率よく勉強できる」「学校を休んだ時も授業を受けられるから」などの授業の質向上や利便性が良いことが理由としてあげられました。

一方、デジタル端末を使った授業が悪いと回答した理由は、「目が悪くなる」という視力の低下を懸念する声が多くみられ、「上手く使いこなせているかわからない」「学習内容が定着するか不安」という利用効果がわからないことや、「SNSやYouTubeも見られるから」「マンガを読んだり、遊んでしまうから」「故障などのトラブルもあるから」「毎日の持ち帰りでランドセルが重い」など、授業時間とは別の使用方法や持ち運びでの課題もみられました。

Q. (デジタル端末を使った授業評価について) そのように思った理由を教えてください。(自由回答)

良いと思った理由

- 今の時代に必要だと思う
- 社会に出れば必須
- 将来につながると思う
- 大人になったら使うので慣れて欲しい
- 早くから慣れるのはよいから
- 家では使い方を教えられないから
- 授業がわかりやすいと感じるから
- 自分で調べ物ができる
- たくさんの資料が参照できるから
- 黒板より見やすいから
- 効率よく勉強できる
- 映像を活用して理解が進む
- 紙資料が減った
- ペーパーレス化できるから
- 学校を休んだ時も授業を受けられるから
- 休校などになった時にリモートができる

悪いと思った理由

- 目が悪くなる
- 視力が低下しそうだから
- 字が上手くならない
- 書く力がなくなる
- うまく活用できていないから
- 効果がわからない
- 上手く使いこなせているかわからない
- 学習内容が定着するか不安
- ノートのように見返せない
- 使いこなせない
- パスワードの管理が大変
- SNSやYouTubeも見られるから
- マンガを読んだり、遊んでしまうから
- 購入費が高い
- 故障などのトラブルもあるから
- 毎日の持ち帰りでランドセルが重い

◆調査概要

- ・調査主体:菅公学生服株式会社
- ・調査対象:小学・中学・高校生の子どもの持つ保護者2,400人
- ・サンプルサイズ:

小学生の保護者	中学生の保護者	高校生の保護者	計
800	800	800	2,400

- ・調査方法:インターネットリサーチ
 - ・実施時期:2024年12月
 - ・調査委託先:楽天インサイト株式会社
- ※結果公開URL: <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol228>

【菅公学生服株式会社】

1854年(安政元年)創業。学校制服・体操服を通じて、子どもたちと学生生活を支えるすべての人々に寄り添い、さまざまな社会課題を解決するスクールソリューションカンパニーです。

【カンコーホームルーム】

菅公学生服株式会社が、生徒を取り巻く環境や生徒の意識・ライフスタイルについて多角的に調査・分析し、毎月最終火曜日に、結果を発信している調査レポート。

テーマは、「中高生が着たい制服・体操服」、「部活動で身につく力」、「学校教育とSDGs」など多岐にわたる。調査結果は、当社の事業エビデンスとしてだけでなく、広く一般に公開することで論文や教材、新聞・テレビ番組で引用転載されるなど、多方面でも活用されている。

発行日:毎月1回最終火曜日更新

公開方法:WEB <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom>

調査テーマの募集、ご意見・ご要望受付:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/demand>

引用・転載のお申込み:<https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/quotation>

以上